

国際介護学科 カリキュラムマップ

アドミッションポリシー(AP)

1. 本学園の建学の精神と「well-being」の追求に賛同する人
2. 「ありがとう」の言葉を大切に人と向き合い社会貢献していきたいと考える人
3. 医療・福祉への強い関心と資格取得への意欲と覚悟を持ちコミュニケーション能力を高めようと努力できる人
4. 目の前の人に寄り添う「いちばんの存在」に向かって努力ができる人
5. 「地域」の中で「何ができるか」を「じぶんごと」として考えることができる介護職をめざす人

ディプロマポリシー(DP)

福祉・医療の基礎知識および一般社会教育を身に付けている。また、精神的、社会的、人間関係的なものを含む生活全体を支えられる人材を目指し、深い人間理解・生命の尊厳・幅広い社会性を身に付けている。

介護福祉に必要な倫理・専門知識・技術を、実際に施設や地域の現場で活用し、総合的に利用者の日常生活援助ができる能力を養い、さらに自己の介護福祉観を身に付けている。

・介護福祉士実務者研修修了(卒業時)
・目の前の人に寄り添う一番の存在になる
・心身の状況に応じた介護や指導ができる

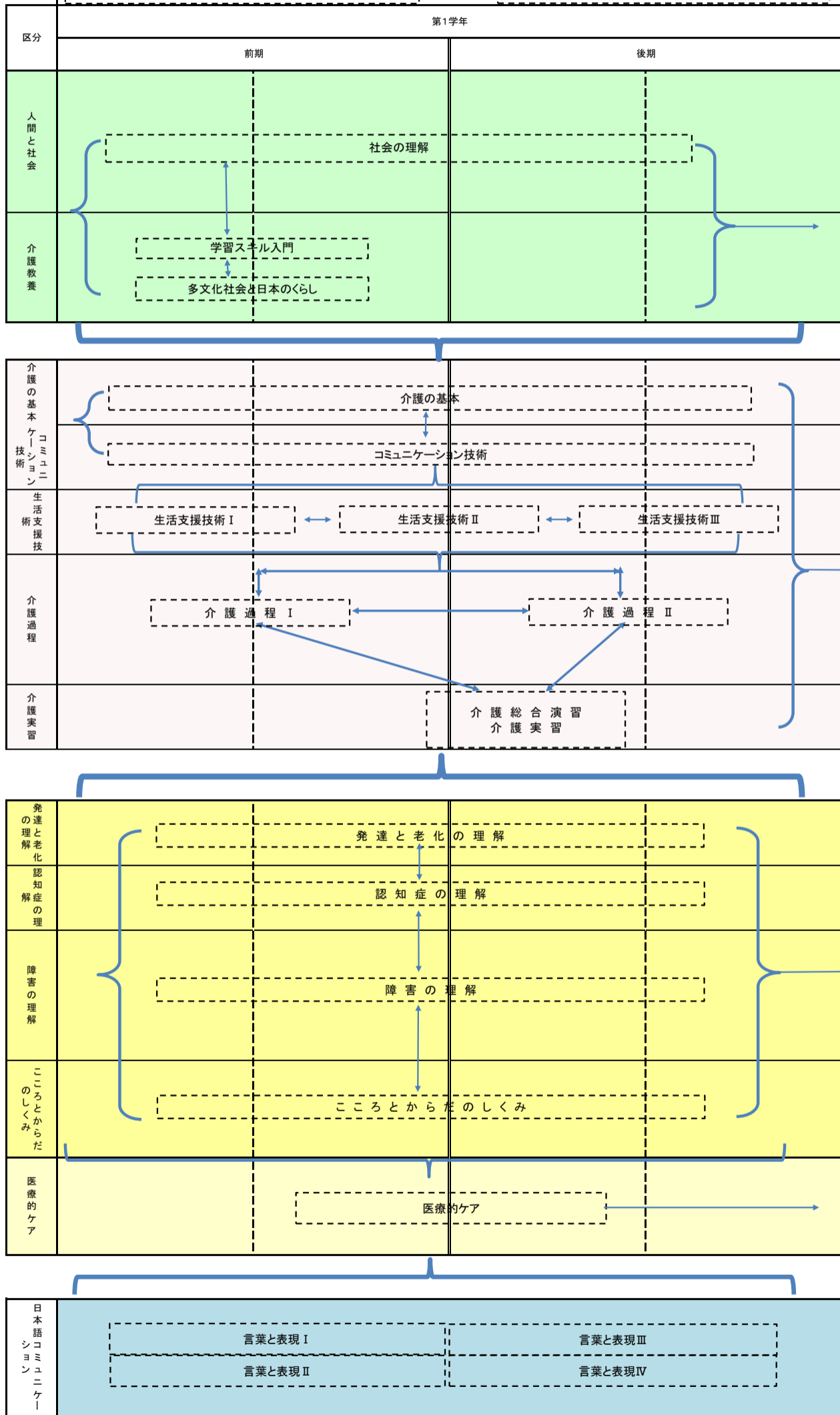
カリキュラムポリシー(CP)

(人間と社会)
介護実践を支える教養を高め、豊かな人間性を養う

(介護)
・専門職としての態度を養う
・コミュニケーションの基礎知識、技術を身につける
・介護過程を展開できる能力を養う

(こころとからだのしくみ)
・介護実践の根拠となる発達、疾患、障害等の基礎的知識を養う

(日本語コミュニケーション)
・介護実践に必要な日本語能力を高める



卒業時取得資格

介護技能評価試験(特定技能介護)
介護福祉士実務者研修修了

目指す介護職員像

1. 尊厳を支えるケアを実践する
2. 専門職として自立的に介護過程の展開ができる
3. 身体的な支援だけでなく、心理的・社会的支援も展開できる
4. 介護ニーズの複雑化・多様化高度化に対応し、本人や家族等のエンパワメントを重視した支援ができる
5. QOL(生活の質)の維持・向上の視点を持って、介護予防からリハビリテーション、看取りまで、対象者の状態の変化に対応できる
6. 地域の中で、施設・在宅にかかわらず、本人が望む生活を支えることができる
7. 関連領域の基本的なことを理解し、多職種協働によるチームケアを実践する
8. 本人や家族、チームに対するコミュニケーションや、的確な記録・記述ができる
9. 制度を理解しつつ、地域や社会のニーズに対応できる
10. 介護職の中で中核的な役割を担う高い倫理性の保持ができる

介護福祉士
・在留資格「介護」

(N3SNT)
(JLPT)
(介護日本語評価試験)